

第2回

安全・安心を見守る センサ材料・技術の進展

Symposium on Sensor materials and technologies for safe and secure society

安全・安心を見守るセンサ技術が社会から強く望まれています。この用途ではバイオセンサ・化学センサから物理センサまで幅広い技術が必要としています。しかし、評価対象が測定対象とできない場合や、測定対象が未詳である場合など、取り組みの難しさが指摘されています。

こうした多岐にわたる物質や事象を対象とするセンサ材料・システムの開発には、基盤的な研究に基づいた技術の発展が不可欠です。私共、物質・材料研究機構/センサ材料センターでは、新興のリスクへの対処するにあたって、危険性そのものを認識するインテリジェント性を併せ持ったセンサ開発を目指し、そのための基礎的な研究に取り組んでいます。

本シンポジウムは、物質・材料研究機構の成果の一部を報告すると共に、国内外の識者の講演をしていただくことで、今後の研究・開発と実用化の指針となる基盤的知見を探ることを意図したものです。

是非、ご参加いただきたくご案内申し上げます。

基調講演

“Ceramic Nano-structures without Lithography: Platform for Chemical Sensing”

Prof. S. A. Akbar (オハイオ州立大学)

“Personalized Health Monitors based on Nanowire Sensors”

Prof. P. Gouma (ニューヨーク州立大学)

講演

「半導体ガスセンサの材料設計」

島ノ江憲剛 教授 (九州大学大学院)

「定質という新しい分析の考え方にに基づくセンサ技術」

春山哲也 教授 (九州工業大学大学院)

「新しい原理・材料による高性能ガスセンサの開発」

松原一郎 博士 (AIST/センサインテグレーショングループ)

「高品質・大面積ダイヤモンド基板の実用化を目指すベンチャー起業～その背景と今後の展開～」

澤邊厚仁 教授 (青山学院大学 (AGDマテリアル株式会社 代表取締役))

報告

「エピタキシャル酸化スズ薄膜」

菱田俊一 博士 (NIMS/センサ化学グループ)

「ダイヤモンドpn接合を用いた深紫外線センサ開発」

小泉聡 博士 (NIMS/光学センシング材料グループ)

シンポジウム参加無料
定員100名

お申し込み/お問合せ先:

(社)未踏科学技術協会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-5-5 櫻ビル9F

TEL:03-3503-4681 FAX:03-3597-0535

E-mail: bnf-new@sntt.or.jp

お申込みは 3月7日まで

URL: <http://www.sntt.or.jp/> より

オンライン登録、またはE-mailにて受け付けます。

日時: 2008年 3月 12日(水)

シンポジウム: 10:00~17:00 / 交流会: 17:30~19:00 (交流会費5,000円)

場所: 化学会館 7階大ホール (東京都千代田区神田駿河台1-5 JR御茶ノ水駅より徒歩 5分)

主催: 独立行政法人 物質・材料研究機構

共催: 社団法人 未踏科学技術協会